令和3年度施策・基本事業マネジメントシート (令和2年度実績に基づく評価)作別政策体系基本目標名 5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり政策名 2 住みやすい快適なまちづくり施策名 2 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理												作成日 令和 3  施策主管課長		上下水道局企業経営課	
施策関係課制政課、環境政策課、上下水道局水道課、上下水道局下水道課														大	
1. 施策の目的と成果把握   この施策は、誰、何を対象としているか   対象指標   単位   H30   R1   R2   ・水道水を市民がいつでも安全で安心して														安心して利	
施策の目 的 「対 象」		① 市民   ① 市民     ②水道施設   ② 水道管延長     ③ 生活排水処理施設   ③ 公共下水道管渠延長     ④   本     この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか   成果指標(意図の達成度)			① 市民 ② 水道管延長		人	119,348	118,450			用できるためには値内に保たなけれ	、水道水の水質	を適合基準	
							km	840.33	841.53	.53 844.60		準値適合率を指 ・生活排水処理施	票として採用した		
					③ 公共下水道管渠延長	ξ		551.1	574.1	578.0		浄化槽・農業集落	排水処理施設)	の処理人口	
					(色) 成果指標(意図の達成度を	表す指標) 区分	単位	H30	R1 R2	2 R3	. 成果指標 設定の考え方	により、各処理施 成果が把握できる	ことから、生活		
		ができる				く質検査検体 <u>目標</u> % 10 実績 % 10				100 100		口普及率を指標と	として採用した。		
		①生活排水が適正に処理され、快適な生活環境が確保される			<u>数</u> 生活排水処理人口普及			<b>.</b>	100 100 82.7 84.3						
施策の目 的 「意図」		②安全で安心な水道水を安定的に提供する ③適切に生活排水を安定的に処理する			②(生活排水処理人口/人)	(口) 実績   目標 実績   目標	- %	78.3	79.3 80.3	3		水道局の資料			
					3						1				
					4						成果指標の	環境政策課、下水	K道課の資料		
						実績 目標					取得方法 3	) 			
					(5)	実績					<u></u> (5)	)			
	<b>基本事</b> 事業名		<b>と成果把握</b> │ 意図	成果指標	区分単位 H30 R1	R2 R3 基z	<b>本事業名</b>	対象		意図	成果技	指標 区分単位	H30 R1	R2 R3	
安全	全で安	①給水区 域内	・安全で安心な水道水が供給される	クリプトスポリジウム	の検 目標 0 0	0 0 生	舌排水 没の整	①公共下7		下水道が彗		処理人口普及率 目標	69.6 71.1	72.2 73.3	
心な水道 水の安定 供給		②水道施	・適切に維持管理			備、 18.7 20.7 促近 21.9 水彩	普及 進及び 先化向	②公共下水 道区域外世 帯·事業所 ③公共下水	-合併如	合併処理浄化材 が設置されている 水洗化が図られ	率 率	実績	<del>                                     </del>	69.7 12.1 12.7	
		設	されている	②長					k ·水洗化			0/2	11.5 11.8	12.1	
				3	目標	上上		道未接続世帯·事業所			公共下水道に。 (水洗化人口/如	D理区域内人 0/6	h	95.2 95.8	
		①水道事	・健全な経営がさ	総収支比率	実績 目標 102.5 102.0	102.2 100.6 生	舌排水	①公共T		kが防止さ	公共下水道の8	実績 目標 %	<del>                                     </del>	93.2 67.0 68.0	
	業の安	業②公共下	れている	(総収益/総費	(用) 実績 113.5 110.3	[1130     施訂	没の適 管理	水道管路 ②水質	各 れてい	る k質が基準	① 公共下水道の (有収水量/晴	実績	68.1 57.5	59.8	
営		水道事業		収益的収支比率 (総収益/(総費用+地 償還金))	B 標 実績 100 100 93.0 87.2					なっている	多 ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② 》 ② 》 》 》 》 》 》	日 信	100 100	100 100	
				有収率	目標 84.4 84.4	84.5 84.5					体数) 合併処理浄化材 (3) 査受検率	曹11条法定検 目標	<del>                                     </del>	73.5 74.0	
L				(年間有収水量/年間水量)	実績 82.9 81.3	81.9					(受検者数/浄化	比槽設置者数》 実績	75.1 72.9	77.4	
3.	施策及 	び基本事	<b>業の目標達成度</b> 割 令和2 <sup>2</sup>	<b>፟፟፟፟፟፟</b> ₣度施策の取組方	 ·針				施金	策の取組に	方針•成果指標	要達成状況 「建成状況			
	·公共	下水道施設	3のライフサイクルコ	ストの低減を図る	ため、ストックマネジメント計 牧築工事を実施するとともに	画」	€て達成		取組方針達成物	<b>犬況</b> 】		「路維持管理の点検·調査		工事とともに下水	
+/-	水処坦	E場(官埋が	*の中央監視装直外	)の改梁工事を実	他する。	<u>+</u> ++	部未達原	·水道庁:	舎の更新に伴う	5基本・詳細設	の改築工事を実施し 対計を完了させた。		1°45113844 4		
	計を実	施する。			庁舎の更新に伴う基本・詳維		全て未達原	<ul><li>公共下</li></ul>	水道区域におけ	ナる、未普及均	也区への下水道整備	『ビ管更新について、計画 『を推進した。また、公共下 置者に対して補助金を卒	水道区域外において		
	│・水道: │る。	水の安全性	生を確保するため、紫	一工・とにが「成未拍標達成仏法」											
・公共下水道区域における未普及地区への下水道の整備を推進するとともに、公共下 指標 ② 一部未達成 あることを確認し、目標を達成した。															
			2年度基本事業の取締		事業の取組方針・成果指標		を て 未 達 原 基 本 事 業		年度基本事	業の取組	方針 基	本事業の取組方針	計•成果指標達度	<b></b>	
	安全で		[水の安全性を確保 紫外線照射装置の	救 借		主活排水 処理施設		制度を積極 型理浄化槽		リギ			全て未達成		
	水の安供給	定 計画	こ基づき、田沼浄水	場に パスカー	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□					□ 全て達成 ☑ ○取組方針達成状況】	一部未達成 □	全て未達成			
	1共和	•配水	線照射装置を整備す は管の更新を計画的	表直官连株建築工	<sup>長直音理保建架工</sup> 及び水洗  ・公共下水道の令和7年度概   取り式からの					や撤去補助について積極的 の転換件数は40件であっ	<i>t</i> =。	理浄化槽や汲み			
		(優先地区:菊川南部、奈良渕 た。 おとばなる おおります また こうしゅう こうこう こうこ								<ul><li>下水道への</li></ul>	5街化区域の整備を進めた 0接続向上を目的とし、未 5が、京四誌開は、新刊フ	接続者に対してダイレ			
		区画整理)							・公共ト水追への木接続世帯   <sub>活動 </sub>  や事業所への水洗化普及活動  <sub>【成果</sub>			共下水道等処理人口普及率は69.7%で、目標を下回った。 併処理浄化槽処理人口普及率12.1%で、目標を達成した。			
基本事業			更新延長の累計 を強化する。 ・公共下が一合併処理					·公共下水道 ·合併処理消							
	上下水	(道 . 財政	オード はいましま はっぱん		し、目標を達成した。  ☑ 全て達成 □ 一部未達成		上泛排水	( • 会供点	<u> </u>	の適正管理	・公共下水	1 □ ヘーキポ □		1 ^~+ '*-	
	事業の	安 保とる	を出の削減に努め、	建全	☑ 宝で達成 □ 一部未達成 □ 全て達成 ☑ 一部未達成		<b>処理施設</b>	と ついて	指導·啓発を 法第11条	を行うととも	に、	□ 全て達成 □ □ 全て達成 □		] 全て未達成 ] 全て未達成	
	営	•水道	を図る。 [庁舎の老朽化及び		組方針達成状況】 な収入である水道料金は、前年度比で	l I			して直接通		率の【基本事業	の取組方針達成状況】 化槽の維持管理につい		に掲載し啓発を	
		不足に伴う、水道庁舎の史新 が、概ね予算どま を実施する。 せて経費の節減			「おりの約1,806百万円(税抜き)を確保 <sup>・</sup> 載に努めた結果、純利益約252百万円(	することができた。併		・ストッ	囚る。 クマネジメン く処理場(管		とづ 図った。法気	定点検(11条検査)の§ 送して受検を促した。	受検率向上のために	、個別通知を約	
					営を保つことができた。 「新に伴う基本・詳細設計を完了させた ******	0		視装置	(外)の改築		まず 装置外)の	ネジメント計画に基づく 改築工事を実施した。			
				・本年度の決算	- ヘル』 「額は、収益的収入が税抜き約2,189百 百万円であるため、総収支比率は113.0				·農業集落排水事業(常盤地區		区) 財産処分の	D手続を行った。			
				・本年度の決算	3ポイント上回った。 「での有収率は、81.9%であり前年度よ	り0.6ポイント高くなっ	イント高くなっ		を、公共下水道へ切り替える の財産処分の手続きを行う。		•公共下水		収率は59.8%で、目標を下回った。 基準値適合率は、目標を達成した。		
		ているが、目標の84.5%に2.6ポイント及ばなかった。										净化槽11条法定検查等			
4.	施策の	基本情報	社会情勢変化、国・!	県の動向、市民・	義会意見等				施策(	の成果向	上に向けての役	设割分担			
	<ul><li>水道</li><li>られて</li></ul>	事業及び2			いて、経営の健全化が求め	1.34	市民	<b>.</b>			事業所		行政	5 III AA 3- AA 3-	
施	・公共	下水道事業		方公営企業法の	適用を総務省(H27年1月27	・水道水の節水に発生しないよう適					kに努め、宅内 よう適正に維持	管理す る。	そ心な水道水の安気		
策	・水道:		<b>域の解消に向けた取</b>			・公共下水道の整に下水道に接続				+下水道(	の整備区域では	ナ 連ね を堅持し、	そ定した上下水道が 安心して利用可能		
の基			ミ計画区域の整備が ルス感染症に伴う、	・公共下水道及び農業集落排水処理 かに下水道に接続し水洗化					を図る。 は、水道未育	音及地域の対策を					
本情			影響がある。	区域外では、単独浄化槽や汲み取り式・公共下水道及び農業集から合併処理浄化槽への転換を図り、 区域外では、単独浄化槽				単独浄化槽や流	や汲み取り・下水道施設を予防保全的な維持管理に						
報	「 章 ・ ・ ・						<ul><li>・公共下水道施設の整備や維持管理 り、適正な維持管理を行う</li></ul>				<b>告管理を行う。</b>				
							に必要な負担金や使用料は、期限内 ・公共下水道施設の整備やに納入する。 に必要な負担金や使用料に								
	に納入する。											利王コロ	徴収猶予の準備を		
5.			· <b>今後の課題 · 今後</b> 続と施策の基本情		トに関する全体総括		^	後の課題	<b></b>			△ 经 4	方向性		
	策の取	組方針に基	<b>基づき各事業に取り</b>	組んだが、成果指	標を全て達成することがで	【令和3年度で解	決する記	果題】		- 11.11		親照射装置の整備	費は多額である		
果「	句上が図	図られた。			人口普及率は、着実に成	·農業集落排水( 伴う設計業務委員		≛)の公共	ト水道へ	の接続工	であるた	E保するために、紫 め、コスト縮減を図	り計画的に整備	まを進める。	
					全体の前年比較はできない ・純利益を出すことができ	【令和4年度以降	(こも,引き	き継がわ.2	る課題】			ミビ管の更新は、優 ・画を立てていく。	先地区以外の均	地区も考慮し	
<i>t</i> = 。			①上水道のクリプトスポリジウム汚染対策 ②上水道の塩ビ管の老朽化 ③上下水道事業の収益の確保と効率的な事業運営 ④汚水処理施設(公共下水道・合併処理浄化槽)の令和7 年度概成への取組み						上下水道事業とも引き続き収入の確保と経費節減を り、効率的な事業運営に努める。						
エ	事を実施	した。							下水道の令和7年度		5街化区域に				
・上	水道の	老朽塩ビ管法に基づく							備を推進する。 『理浄化槽や汲み』						
• 合	併処理	浄化槽への	役の令和7年度概成 D転換に対する補助			⑤単独処理浄化槽及び汲み取りから合併処理浄化槽への 転換 は撤					は撤去費	開及び宅内配管:	工事費の補助を	継続する。	
成	なった。		⑥浄化槽の適正な管理に伴う法定検査未受検者への対応 ⑥浄イ							条法定検査の実	施について、				
• 浄	化槽の	保守点検や	ウ11条法定検査の実 に対し約1,200件の		検者に						指導を行う。 治事を行う。 )を公共下水道へ				
•水	処理セ	ンターから	⑧ストックマネジメント計画に関連する下水処理場(沈砂池 ため、					沙池 ため、接	続工事を実施する	0					
確化	呆や水環	をは日常生活にとって最も重要なライフラインであり、より一層の「おいしい水」の水環境の保全と循環型社会の構築に向けて、「水質の保全」「施設の老朽化対でり組む必要がある。					⑨水道庁舎の老朽化及び耐震不足の解消 池ポン					ストックマネジメント計画に関連する下水処理場(沈砂 ポンプ棟)の耐震工事を実施する。 水道庁舎の更新に伴う建設工事を完了する。			
朿」	に拟り着	诅む必要か	'න්තං								9 水 迫 厅	古の史新に伴つ妇	E設工事を元「で	y る。	